

両手一杯の希望を抱えて こんにちは佐渡市!!



「出し講」つてご存じ? みんなが用意できる物を持ち寄つて、食べて飲んで楽しむこと。そんな佐渡の風習つていいですね。同じように、みんなの「夢」持ち寄つて、「みんな」佐渡「あんな」「佐渡」を語つてもらいました。

わいわい、がやがや、佐渡の明日へまず第一步。

相川 マラソンで触れ合う島に

高千小学校6年 浜野沙苗さん



佐渡市とともに中学校へと進学する私。うれしい気持ちでいっぱいです。そんな私が頑張りたいことは、陸上です。高千は昔から陸上が盛んでした。もつと大会が増えて欲しいと思うし、市民マラソンなどふれあい行事が増えると、明るく楽しい佐渡市になると思います。

両津 みんなの声を聞いて

あんしゃ
安社 操さん



行政だけの判断ではなく、住民の声を聞いて島全体がバランスよく発展してほしい。聞き方も集会等だと意見を述べにくい人もいるので、アンケートで幅広い年代から聞いてもらいたい。また、安易に新たな施設を建設することなく、現在ある施設を有効活用してほしい。役所の空室を住民のふれあいの場みたいなものに利用できるといいですね。

金井 若い力を結集しよう

稻垣 光国さん



これからも、地域の活性化には、多くの若者の力が必要です。島の若者は、祭典などの行事のほか、河川清掃など自然環境保全への取り組みなど、郷土発展に寄与しようと数多くの人達が積極的に参加しています。3月より新市の出発にあたり、若者の役割を明確にした活気に満ちあふれる島づくりであることを願っています。

佐和田 仲良し3人組が望む佐渡市

河原田小学校6年 金田光くん・中山秀俊くん・石川拓美くん

元気な小学6年生に「佐渡市に望むこと」を聞きました。金田光くん(右)「差別がなく、協力しあえる市」、中山秀俊くん(中)「自由で平和な市」、石川拓美くん(左)「観光客がいっぱい来る明るい市」との意見。

しっかりした意見にビックリ。こんな小学生がいるなら、佐渡市の夜明けも明るいこと間違いないことですね。



両手一杯の希望を抱えて こんにちは佐渡市!!

畑野

働きやすい環境



大間 ヨシ子さん

佐渡が一市になつても、若い人が佐渡を愛し楽しく働くことの出来る職場をつくつていただければと思います。私たちは、若いころのように仕事が出来ませんが、少しでも家族の手伝いをして、若い人に働きやすい環境で市の発展のために頑張ってもらいたいと思います。

小木

佐渡市へ寄せる思い



村川 辰雄さん

佐渡市が誕生したことは、新たな出發として誠に感慨深いものがあります。市全体としては試行錯誤の中で、いかにして市民が望むきめ細かなサービスの提供ができるかを考えてほしいと私は思っています。また、各地域の伝統・文化が、後世に受け継がれるように、活発に交流が行われていくことと思いますが、行政のサポートを今以上に期待します。市民一人ひとりが佐渡ヶ島のことを見つめ直す良い機会がスタートしたと思いますし、期待を寄せてています。

赤泊

佐渡市誕生にあたって、一言



水澤 和美さん

正直、合併といつても何がどうなったかがよく分からぬですが、赤泊村の名前が無くなつたのは少しさみしい感じがします。島の人口は減少しているけど、このままたれることがないように若い人が大勢残つてほしいし、この合併を契機に佐渡がこれから大きく発展していくことを期待しています。

新穂

佐渡市誕生に寄せて



新穂中学校2年 大瀧春香さん

私たちの住む「トキのむら」新穂が、「トキの住む島」佐渡市となります。中学生にとつては、学校名も新穂村立から佐渡市立になり、何も変わらないような気がするけど、そこには何か特別な響きがあります。私たちが未来に羽ばたくための第一歩が3月1日の合併だと思います。今、夢や希望を乗せた佐渡市が始まります。

真野

新市へ向けて



後藤 節子さん

すばらしい自然や文化、歴史を絶やさず、温かい思いやりの心を持つて、情報を出し合い、子どもや孫が安心して生活できる、活気ある新市を作るお手伝いを、市民として少しでもできたらと思います。



田川 勝美さん

佐渡市誕生のお祝いを申し上げるとともに、一言お願いを述べさせていただきます。世はまさに高速交通時代、わが国最大の離島佐渡に、ジェット機航空がないのは寂しい。ぜひ建設を実現してほしい。佐渡と国内主要都市が1時間で結ばれるなら、及ぼす効果は計りしれない。

新市の無限の発展を期待します